

雪氷写真館②④ みずほ基地での吹雪観測

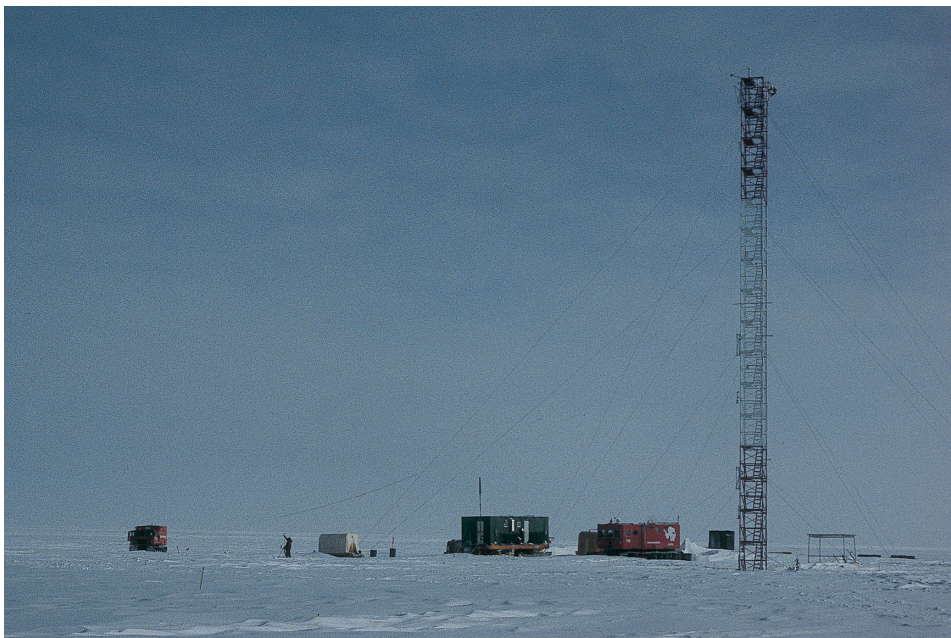


写真 1. 右から 30m タワー，SM110 型雪上車（吹雪観測室として使用），居住用カプース.

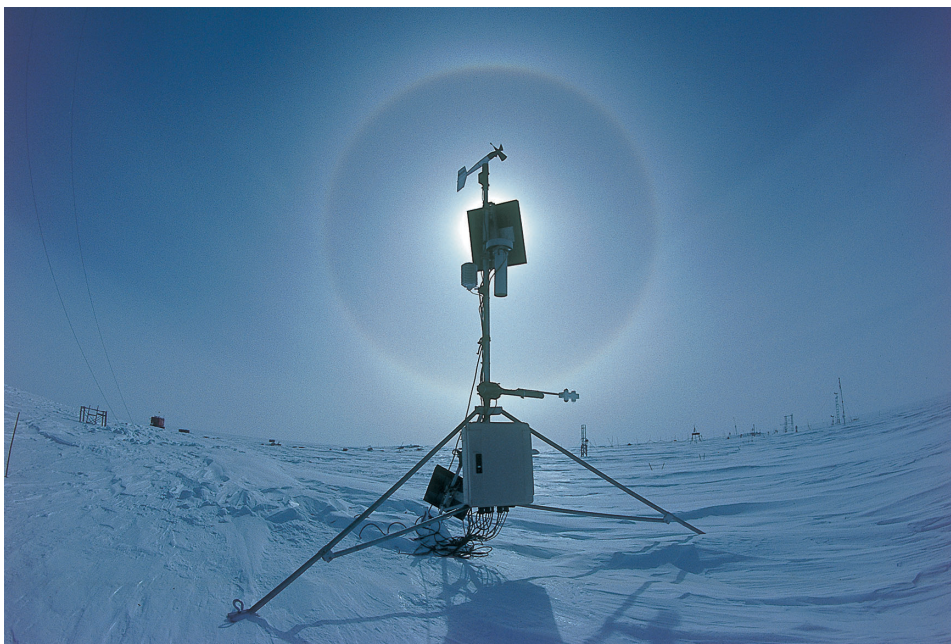


写真 2. みずほ基地に出現したハロー.

みずほ基地での吹雪観測

2000 年 9 月 30 日から 11 月 18 日までの約 2 ヶ月の間、南極みずほ基地において吹雪観測を実施した。1970 年に開設され、17 次から 27 次まで越冬観測も行なわれたみずほ基地は、今は完全に雪面下にある。今回の滞在中は 12 畳ほどの広さのカブースが食堂兼寝室、そして大型雪上車がそのまま観測室として使われた。30 m タワーに設置したスノーパーティクルカウンター、超音波風向風速計、気温・露点計などの観測機器は、厳しい環境下にもかかわらず順調に作動し、期待以上の成果が得られた（本号滞在記参照）。

西村 浩一 会員（北海道大学低温科学研究所）